



学校だより

相見小学校だより

令和2年10月7日(水)

宝達志水町立相見小学校
校長 北 智香子

めざす児童像：自ら学びとる子 思いやりのある子 自ら鍛える元気な子

運動会 ありがとうございました 9/26(土)

こんにちは。校長の北でございます。

いろいろな事が心配された運動会でした。しかし、無事終了しました。お陰様です。ありがとうございました。

コロナで、開催できるのか・・・？

熱中症が心配だ・・・練習は大丈夫か？

保護者や来賓はどうするのか・・・？

天候は、どうなるのか・・・？ 花火は果たして上がるのか・・・？

などなど、皆さんを、本当にやきもきさせた令和2年度、秋の運動会でした。

りっぱな子ども達の姿に感動いっぱいの運動会でした。凛々しい子ども達の姿に大拍手の運動会でした。あの頑張る姿を保護者の皆様のみならず、地域の方々にもお見せできればよかったのになあとの思いは、残ります。が、あれが、现阶段でできる精一杯でした。保護者の皆様には、たくさんのご協力とご支援、そして温かい拍手をいただきました。ありがとうございました。

開会式で、赤組応援団長 松田 咲妃さんと
白組応援団長 松井 蓮さんが、
全体の前で 選手宣誓した

「我々 赤組 白組選手一同は、
相見に関わる 全ての人たちの絆を大切に
全力で 嵐を巻き起こし
日頃お世話になっている方々に 感謝の気持ちを込めて
最後まで 完全燃焼 一致団結
素晴らしい運動会にすることを誓います。」

という宣言通り、赤組と白組がそれぞれの力を出し切りました。結果は、赤組勝利でしたが、赤白どちらの組も全力で最後まで頑張りました。心から仲間を応援したという点では、両者優勝です。

相見小「宝の日」87個となりました。特に6年生のリーダー達は、休み時間もなく、声を枯らしながらよく頑張りました。あっぱれです！大きな成長を見せてくれましたし、大きな自信となったことでしょう。ご家庭からの励ましに感謝いたします。



●5・6年マーチング 今年はパプリカ♪●



●3・4年生 おどれ日本海2020●



●1・2年 「鬼滅の刃」の曲にのって●

【お知らせ】10月19日(月) バスに乗って、社会見学にでかけます。

低学年：能登島水族館 中学年：輪島方面 高学年：柳田方面 (全学年、能登方面としました。)

羽咋郡市科学作品コンクール おめでとう！

【入選】 ～ 短い夏休み期間中、よく研究を進めてまとめました ～

- 4年 酒本 叶葉 コロナに負けないで！マスクの研究
- 6年 南谷優里愛 1番快適に過ごせるマスクはどれだ！？

読書感想文コンクール入賞 おめでとう！

本を読んで、その感想文を書く。なかなか、難しいものです。

「何を書いたらいいのかわからない」「何枚も書くのは苦手」といった悩みをよく聞きます。それは、自分の感想を言語化することはとても難しいことだからです。そして、書く時には、考えなくてはならないからです。本のあらすじばかり書くのではなく、自分の思いを文章化するから困難さが伴います。それでも、その困難に立ち向かい、読書感想文コンクールに入賞した子ども達を称えたいと思います。よく頑張って書きました。

【校内コンクール 入選】

- ・1年 折本 実優 北山 友結 吉岡 華 表 司沙
- ・2年 濱田 結菜 松田 莉空 水内 愛実 中村 倅弥 倉下 陽向
- ・3年 中村 玲月 川端 萌花 岡崎 澪音 山本 叶翔
- ・4年 栗原 歩夢 本庄 朱織 南 綾乃
- ・5年 北 蒼生 北濱 初姫 南 春花
- ・6年 神谷 天士 城光美彩貴 南谷優里愛 佐古 七海



【町読書感想文コンクール】

- ・特選 5年 北 蒼生 ヒロシマ 消えたかぞく ★町代表として郡コンクールへ
- ・入選 1年 表 司沙 「ながーい5ぶん みじかい5ぶん」をよんで
- 2年 倉下 陽向 黒部の谷のトロッコ電車
- 3年 中村 玲月 ポリぶくろ1まいすてた
- 4年 本庄 朱織 ブラザードッグ
- 6年 神谷 天士 ルイ・ブライユ

来年度 新1年生は20人

令和3年度の新入生は20名（男子9名、女子11名）の予定です。9月中旬に、新1年生を迎えるための就学時健診がありました。暖かい日で、20名の子ども達とお母さんが一緒に相見小学校に来てくださいました。その微笑ましい姿に4月入学の日を待ち遠しく思いました。

さて、児童虐待の報道が新聞やテレビでなされることがあります。心が痛みます。そんな時に、次のような話を思い出します。

「この世に、仏ありとせば、それは母である。母は、我が子のために己を犠牲にしても悔いることはない。」とお釈迦様は説かれています。

小学校低学年のうち、子どもは、学校から帰ってくれば、「お母さんは・・・？」と尋ねます。風邪で寝ていても「お母さん・・・？」と心配して聞きにきます。私も3人の親で、いい母親ではなかったと反省しきりですが、我が子が「お父さんは・・・？」よりも「お母さんは・・・？」の声をよく耳にしたように思います。きっと、子ども達は、心に刻まれた母の愛情を支えに、長い人生を生き抜いていくことでしょう。子どもにとっては、いくつになっても、母は、母です。日頃より、小さな愛情を長くかけてやりたいものです。厳しくあることも大事な愛情です。社会が大きく変化して、子育ては夫婦で、家族で協力して進めることが何より大切な時代です。親の愛は、無償の愛とも言われます。今一度、考えてみたいと思いました。

